

アートサポートふくおか★2018

芸術文化のまちづくりゼミ

高齢者とアート part.2～老いと演劇～



芸術文化のまちづくりゼミは
＜芸術文化で人とまちをつなぐこと＞
に関心がある人を対象に行う
能動的な講座です。

アートサポートふくおかでは、認知症の方を含む高齢者の
芸術体験の機会拡大に
取り組んでいます。

今回は菅原直樹さん(俳優/介護福祉士/
「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰)による講演と
「老いと遊び」「認知症ケアと演技」のワークショップ
を行います。

高齢者の立場・気持ちになる体験を通じて、
演劇が認知症ケアのためにできることを
知っていただき、高齢者介護関係者と文化関係者の
交流を図ります。

＜受講料＞一般 1,000 円

学生・アートサポートふくおか協力会員 500 円

＜申込み方法＞ メールで下記をご連絡ください。

先着順。①お名前 ②(あれば)ご所属 ③(昼間、
連絡がとれる)電話番号 ④メールアドレス(PCから
送信します) ⑤参加の動機・現在、関心を持っている
こと

＜申込先＞ **アートサポートふくおか**

メール office@as-fuk.com

日時：2018年10月10日(水)
19:00～21:30 (受付開始 18:40)

場所：アクロス福岡 501 会議室
(福岡市中央区天神 1-1-1)

定員：30 名 (先着順)

＜主催＞ **アートサポートふくおか**

<http://www.as-fuk.com> office@as-fuk.com

＜後援＞ (公財) 福岡市文化芸術振興財団
(社福) 福岡市社会福祉協議会

講師：菅原 直樹さん (俳優、介護福祉士)

1983 年栃木県宇都宮生まれ。老いと演劇
「OiBokkeShi」主宰。桜美林大学文学部総合文化
学科卒業。青年団に俳優として所属。小劇場を中心
に前田司郎、松井周、多田淳之介、柴幸男、神里雄
大の作品などに出演する。2010 年より特別養護老
人ホームの介護職員として働く。2012 年、東日本
大震災を機に岡山県に移住。認知症ケアに演劇の手
法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全
国各地で展開。これまでの作品に『よみちにひはく
れない』、『老人ハイスクール』、『BPSD:ぼくのパパ
はサムライだから』、『カメラマンの変態』など。

OiBokkeShi
菅原直樹さんの
ワークショップ



「老いと遊び」 身体を使って他者とコミュニケー
ションをとる喜びは演劇の原点。「できる」「できない」
にこだわらず「いまここ」を楽しみましょう。

「認知症ケアと演技」 認知症の人のぼけを
“演技”で自然に受け止めてみましょう。